

「不思議の国ウェールズ 古城街道」のプレゼンテーションを開催

Wales Now Vol.27

発行日：2017.09.15

TOPICS

- |お知らせ| ツーリズムEXPOで「不思議の国ウェールズ 古城街道」プレゼンテーション開催と初のブース出展
- |お知らせ| 『CREA Traveller 2017年秋号』で北ウェールズ特集
- |インタビュー| スランディデュノ「The Summit Complex」オーナー、ロニー・ジョーンズ (Ronnie Jones) さん
- |ピープル| 東京・阿佐ヶ谷の「マグノリアカフェ」オーナー、ショーン・アンダーソン (Sean Anderson) さん

ツーリズムEXPOで「不思議の国ウェールズ 古城街道」プレゼンテーション開催と初のブース出展

2017年9月22日(金)・23日(土)・24日(日)、東京ビッグサイトで開催される「ツーリズムEXPOジャパン2017」にて、「ヨーロッパの美しい街道20選」に選定された英国の2つの街道をご紹介しますプレゼンテーションを行います。

日時：9月23日(土)、24日(日) ＊一般日 / 場所：東1ホール「ヨーロッパスクエア」

13:25～13:55「イングランド田園街道の魅力と英国情報～あの紳士すぎるモフモフクマがやってくる!参加者にはグッズのプレゼントも!～」英国政府観光庁
13:55～14:55「不思議の国ウェールズ 古城街道～北ウェールズから旅先案内レジェンド、J・J(ジム・ジョーンズ)がやってくる!～」ウェールズ政府

また、今年度はウェールズ政府として、東1ホール「E-23」にブースを初出展いたします。皆様のお越しをお待ちしています。

▼ツーリズムEXPOジャパン2017

<http://www.t-expo.jp>

『CREA Traveller 2017年秋号』、北ウェールズ特集が好評

『CREA Traveller 2017年秋号』(2017年9月8日発売)の特集「英国の休日」にて、北ウェールズが取り上げられました。「異境のウェールズ (Mystic Wales)」と冠して、中世の城郭都市コンウィヤ名園ポドナント・ガーデンなどの歴史とその魅力から、大邸宅ホテルやミシュランの星付きレストランまで、北ウェールズで過ごすラグジュアリーな旅が紹介されています。

▼CREA Traveller 2017年秋号 (文藝春秋)

<http://crea.bunshun.jp/articles/-/13756>



“頂上の景色を見てすぐに「ここに住もう」と決めたそうです”



「The Summit Complex Co.」オーナー
ロニー・ジョーンズ (Ronnie Jones) さん

北ウェールズの目玉アトラクションのひとつが、スランディデュノの「The Summit Complex」。レトロなトラムや英国一の長距離を誇るケーブルカーに乗ってたどり着くグレートオームの頂上にある、息を呑むような絶景に囲まれながら、おいしい食事を楽しめる複合施設です。代々このローカルビジネスを続けてきた、現オーナーのロニー・ジョーンズ (Ronnie Jones) さんにお話を伺いました。

イタリア移民の祖父が惚れ込んだ土地

私はスランディデュノで生まれ育ち、家族が経営してきた「The Summit Complex Co.」を1983年より引き継ぎました。

約100年前、イタリアから移住してきた私の祖父は、イギリス中のリゾートタウンを周りました。そして、ある街で地元の人に優しくしてもらい、さらに岬の高台の景色を見てすぐ、「ここに住もう」と決めたそうです。それが、スランディデュノでした。最初はベーカリーとアイスクリームの会社を始めて、私の母の代でレストランやギフトショップなども整備して、複合施設へと発展しました。



Great Orme Tramway, Llandudno
© Crown copyright (2006) Visit Wales,
all rights reserved

「偉大なるドラゴン」の頂きへ

私たちの拠点の建物は、高さ207メートルのグレートオーム (The Great Orme) の頂上にあります。ここには、スノードニアの山を遠方に望む、息を呑むような景色が広がっています。お客さんの中には、ヨーロッパで最も素晴らしい眺めだと言ってくれる方もいるんですよ。なお、この地のグレートオームという名前は、ヴァイキングの言葉で「偉大なるドラゴン」という意味です。この地形は遠くから見ると、まるでドラゴンが海から顔を出しているように見えるからです。



おいしい空気と食事を召し上がれ

スランディデュノの街中から頂上に行くルートは2つ。修復された100年前のトラムと、イギリスで最も長い距離を誇るケーブルカーです。ゆっくり景観を楽しみながらいらしてください。頂上のレストラン&カフェでは、フィッシュ・アンド・チップスなどのイギリス料理や、ウェルシュ・ケーキ、アイスクリームなどの軽食を提供しています。質にこだわり、全てここで作っています。ウェールズのカントリーサイドなら、ロンドンとはまた違う体験ができます。スランディデュノの絶景の中で、心からリラックスしてください。お待ちしております。



▼The Summit Complex

<http://www.thesummitcomplex.co.uk>

“今年の「ウェールズ・フェア」はウェールズ国旗やドラゴンを飾って、デコレーションにもこだわりました”

東京・阿佐ヶ谷の商店街にたたずむ「マグノリアカフェ (Magnolia cafe)」。満開のマグノリアのペイティングが壁に咲く可愛らしい店内では、ウェルシュ・ケーキなど日本では少し珍しいイギリス料理が楽しめます。前編に続き、オーナーのショーン・アンダーソン (Sean Anderson) さんに、ウェールズ料理について伺います。

ー ウェールズのメニューは、どんなものがありますか。

まず、ウェルシュ・ケーキは毎日ご用意しています。試しに始めてみたら驚くほど人気で、通常メニューになりました。お客さんの9割が、ウェールズの存在を知らないにも関わらず、です (笑)。それだけウェールズの料理がおいしいということですよ。テイクアウトもできますよ。



「マグノリアカフェ (Magnolia cafe)」を運営する、
シヨン・アンダーソン (Sean Anderson) さん。
パートナーでキッチン担当の育子 (Ikuko) さんと



「ウェールズ・フェア」開催時の店内

— 毎年、期間限定で「ウェールズ・フェア」を開催されている
そうですね。

はい、毎年2月下旬～3月にはウェールズの守護聖人のお祭り
である St. David's Day にあわせて、特別メニューを用意して
います。今年はチーズを使ったウェルシュ・レアビット、フルー
ツケーキのバラブリス、リーク・パイやリークのシチューをお
出ししました。どれも私の大好物です。

今年の「ウェールズ・フェア」はウェールズ国旗やドラゴンを飾
って、デコレーションにもこだわりました。期間中、わざわざ遠
くからもお客さんが来てくださって、楽しかったですね。

— これからウェールズに行く人に、アドバイスをください。

最初はコンウィヤカーディフを訪れて、いずれはレンタカーを
借りて田舎まで……と、徐々に楽しむのがオススメです。
それから、もしウェールズの国立公園や丘、山へウォーキング
に行かれるなら、入念な準備をして行きましょう。旅行客の多
い観光地でも、風の強い日や雨の日は、かなり寒くなります。
ぜひ「替えの靴下」と「ビニール袋2枚」も持って行ってくださ
い。夢中になって靴が汚れてしまったとき、洗ってそのまま履く
と足元が濡れて心地が悪いですよ。そういうときは靴下を替
えて、ビニール袋で包んでから履き直すと快適ですよ。

— 読者にメッセージをお願いします。

阿佐ヶ谷の近くにいらしたら、マグノリアカフェに遊びにきてく
ださい。あまりに忙しすぎる日でない限り、私はお客さんとお
しゃべりをするのがとても好きなんです (時に、話すぎるら
しいです)。

ウェールズの本やパンフレットも店に置いているので、自由に
手に取ってください。食事はもちろん、ウェールズについて何
か聞きたいとき、あるいはちょっと英語の練習がしたいときも、
ぜひいらしてくださいね。

▼マグノリアカフェ

<http://magnoliacafejapan.blogspot.jp>



ウェールズ料理「リーク・パイ」のランチプレート
(ウェールズ・フェア限定メニュー)

編集後記

英語で "treat yourself (トリート・ユアセルフ)" という
言葉があります。「自分をいたわって」という意味です。
これまで、ウェールズのホスピタリティーのスペシャリス
トにお話を聞く度に登場しました。今度の旅のテーマに
してみてもいかがでしょう。